

# 令和7年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2026.1.30(金)

事業コード	25-G-11	学校名	中津川市立苗木小学校	住 所	中津川市苗木2083
実施日	11月27日(火)13:35~15:50			受講児童生徒数	51名(6年生)
開講職種数	4職種	指導者数	8名	参観保護者数	0名

## 学校アンケートの結果

1 体験授業全体を通して、満足していただけた内容となっていましたか

→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった

4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください

→ ・小学校6年生の段階では、「夢がない」という児童が多い。その中で、今回のようなものづくり体験を行うことで、職業選択の1つとして考えることができる貴重な機会となった。実際にものを製作できることに大きな魅力があると感じます。専門職のプロから学ぶことができる素晴らしい時間でした。講話や質問コーナーも対話形式で貴重な時間でした。

## 会場担当教員アンケートの結果 (4会場の先生)

1 この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか

①大変よく伝わった →

②ある程度伝わった →

③あまり伝わらなかった →

④全く伝わらなかった →

2 児童生徒に対するキャリア教育の視点で、この体験授業の価値や要望について、自由にお書きください。

→ ・職業選択の1つとして、ものづくりという選択肢を学ぶことができた。中学校では職場体験があるが、6年生の段階でこのような体験ができるることは大変価値があると思います。「夢がない」という子どもも多い中で、職人の魅力が児童に伝わったと感じます。(寝具製作会場)  
・昔と比べて「働くこと」に対しての考えが広がり、今の子どもたちの職業に関わる意識調査では、将来の希望に「ユーチューバー」などが入ってくる時代である。より、混沌とした時代になりつつあることも実際なので、小学生のうちはより幅広く体験することこそ大切であると考える。(左官会場)  
・高校進学について、自分の興味や特性、将来のビジョンについて漠然としていて、明確な思いを持っていないにも関わらず、工業や商業など、専門的な技能を取得する高校に入れるか否かという観点を優先して、選択をする場合がある。また、自分の将来の職業について、ビジョンを描いていない児童、生徒が多いように感じる。今回のような体験活動を通して、ものづくりという職種と自分について考えることができたことに、価値があると考えます。(置製作会場)  
・ものづくり体験ができたことは、普段の授業ではなかなか学べない職業に触れることができ、子どもたちにとって大変有意義な時間となった。ありがとうございました。(表装会場)

## 指導者アンケートの結果（4職種の各代表）

1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか

- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった  
 ②興味関心を示さない児童生徒も少しあったが、概ね満足できる内容であった  
 ③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった  
 ④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった

4

2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしかりましたら、お聞かせください

・我々、寝具業界は職人の高齢化と後継者不足が深刻な状況であり、またインターネットなど大手メーカーによる量販や価格に転嫁した通販などの影響もあって「廃業」を余儀なくされる小売店も少なくありません。その一方で、職人が手掛けた『本物の布団』を求める顧客は全国にいます。唯一無二、一人一人の要望に沿った付加価値の高い布団を仕立てることのできる職人の存在を世の中にもっと発信していく必要があります。

この体験授業を通して『ものづくり』という職業の“魅力”と“可能性”を多くの子どもたちに伝えられることは非常に尊く、私自身とても嬉しく思います。

私は、ある人との出会いが“キッカケ”でこの世界に入りました。しかも、その出会いは突然に訪れました。どうか、これからもこの様なキャリア教育を実施することで子どもたちが“夢を抱く”ことのできるキッカケづくりを岐阜県主導で積極的に推進していただきたいです。(寝具製作職種)

・技能者は人材不足が進み、技能継承の不安はあります。しかし、今回のような体験授業は子どもたちの将来の仕事や、地域のものづくりに興味を持つきっかけになります。将来の職業選択の考えるきっかけとなるだけでなく、伝統的な技能への理解を深める貴重な機会であることを改めて感じています。単発な体験にとどまらず、地域の技能者と学校がこの様に繋がれたらと思います。保護者や学校にも技能の魅力や社会的役割を知っていただく効果があるので、人材育成や技能継承の一助となると考えます。

今後もこの様な体験授業が継続され、技能の魅力が次の世代に伝わっていくことを期待しています。(左官職種)

・こんなに面白く、やりがいのある仕事なのに、なぜ人手不足なのだろう。その理由の一つは「知る機会の少なさ」だと私は感じています。私が今の仕事に就いたのは、父の背中を見て育ったからです。しかし、個人事業主の家庭で育ったことのない子どもたちにとっては、そもそも職人の仕事や働き方に触れる機会がほとんどありません。その結果、都市部へ出なければ仕事がない、進学のために県外へという流れが当たり前となり、地域の仕事が選択肢に含まれないまま大人になってしまうのだと思います。私は、この事業にはその状況を変える力があると信じています。進路に迷っている、将来がまだ漠然としている小・中学生に対して、実際に現場で働く職人が、単に作業を見せて体験させるだけでなく、「何にやりがいを感じているのか」「どんな思いで仕事と向き合っているのか」を生の声として伝えられる機会は、非常に価値があります。それは、子どもたちの視野を広げ、将来の選択肢を増やすきっかけになると強く思います。是非、事業の継続や拡充を期待しております。(畳製作職種)

・話も大切ですが、ものづくりを行って、楽しさ・達成感を感じてもらうことで、その職種への興味に繋がっていくと思いました。

・各職種に対しての事前の予習・勉強をしてもらい、実際に体験した時の違いを感じてもらえると、より強い興味・関心を持つてもらえると思います。(表装職種)

## 会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれくらい満足されましたか

	寝具製作	左官	畳製作	表装	合計(左:人 右:%)
指導者数	1	3	2	2	8
受講児童生徒数	16	12	13	10	51
回答	とても満足した	16	9	11	46 90.2
	ある程度満足した	0	3	1	4 7.8
	あまり満足できなかった	0	0	0	0 0
	満足できなかった	0	0	1	1 2.0
	合 計	16	12	13	51 100

## 寝具製作会場の様子



### 先生の感想

- ・職業講話では夢に向かっていくことの大切さを伝えていただいた。「まず、やってみる」「やったもん勝ち」と行動していくことの重要性を熱心に語っていただき、児童は熱心に耳を傾けていた。
- ・説明の仕方が明朗で、指導者の話を聞く時と製作するときのメリハリがとても良かった。
- ・一人ひとりの児童に配慮していただき、全員が同じペースで進めることができた。
- ・職人の技を話と実演で示しながら、「難しいことにもチャレンジしてみよう」という気持ちを生み出しながら体験活動をすることができていた。

### 児童生徒の感想

- ・職人はこれからではなく、転職していることに驚いた。やりたいことをとことんやるのが大切だと思った。
- ・素早く難しい作業を進めていたのがすごく印象に残った。
- ・実際に布団を作るところや、機械で綿を配合したり、混ぜたりするところも見たいと思った。
- ・ミニ座布団を縫い終わったあと、みんなで輪になって座布団を叩いたり、なでたりしたのがとても印象に残った。
- ・教えてくれた職さんは面白くて、分かりやすくて、楽しかった。
- ・とても楽しかった。綿をミニ座布団の側布の中に入れるときがちょっと難しかった。
- ・プロの技を見てすごいと思った。座布団の四隅が堅くなるように、綿で角を作ったり、それを側布の中にピッタリ入れたりする技にはびっくりした。
- ・講師の先生の教え方がすごく上手で、楽しくミニ座布団づくりをすることができた。
- ・「日本一」寝具づくりが上手い人が恵那に住んでいることを初めて知ってすごいと思った。手際の良さに見とれました。職さんの作ったその布団で寝てみたいと思った。

## 左官会場の様子



### 先生の感想

- ・小学生にとって、実際の仕事の様子を見たことがない子が多いだけでなく、こてやこて板を使った作業自体も初めて見る子ばかりであった。よって、札幌職業訓練校の活動動画では、塗っては取り除き、また塗っては取り除くことを繰り返し行う映像が流れたが、大変興味深く観る姿があった。
- ・こて、こて板を使った実際の立壁塗りの作業体験では、こての角度を講師の方に教えていただきながら、繰り返し丁寧に塗ろうとする姿があった。講師の方の協力も得ながら、最後は自分で名前を書き入れ、記念撮影を行った。
- ・最後は、タイル25枚を貼り付けたコースターづくりを行った。タイルのカラーの種類がいくつもあったので、オリジナル作品を楽しそうにつくることができた。
- ・職人の仕事は、片づけまでしっかりとやってこそだという話をいただき、いつも以上に協力して片づけを行うことができた。
- ・講義や映像だけでなく、実際のものづくり体験ができ、児童にとって作る楽しさや匠の技を感じ取る素晴らしい機会となった。

### 児童生徒の感想

- ・見ているだけだと簡単そうだったけど、実際にやってみたら難しくて、上手くできなかつたので悔しかつた。
- ・厚いところと薄いところが出来てしまつて、一定の厚さにするのが難しかつた。
- ・左官仕事はとても楽しかつたので、未来の職業として左官に興味を持つた。女人でも左官の仕事をすることができるのか気になつた。
- ・タイルコースターの色、デザインをとても工夫した。規則正しく複雑な模様ができるとても嬉しかつた。出来ればもう一個作りたかった。
- ・力はいらない仕事なのかなと思っていたら、力仕事だったので本当に疲れた。だけど、きれいに塗れる方法など教えてくださつたので、すごく分かりやすかつた。
- ・立て壁塗りを1時間で20回もやるなんて若い訓練生の人たちはすごいなと思った。
- ・立て壁塗りが難しくて、角の部分や、枠のギリギリの部分を塗るのが難しかつたけど、分かりやすい説明のおかげで上手くできた。教えてくださりありがとうございました。
- ・左官についてよく知ることができたし、職業の大変さがよく分かつた。コースター作りがとても楽しかつた。
- ・立て壁塗りで、厚さを1mm～2mmで均等に塗るのが難しかつたし、どれだけ大変な仕事なのかがよく分かつた。

## 畳製作会場の様子



### 先生の感想

- ・ものづくりの仕事に関わることのできる貴重な体験であった。
- ・ミニ畠製作では一人一人が正しく製作できるよう、手厚い準備と丁寧な指導をしてくださった。
- ・樹脂製の畠と、い草の畠の違いについて分かりやすく説明があった。
- ・い草の匂いに学習効果を高める力があることは子どもたちにとっては興味深いものとなっていた。
- ・自分が製作したミニ畠だけではなく、ござをお土産としていただくことができ、児童たちは大変嬉しそうな様子だった。
- ・給与面などについて、児童に分かりやすく自営業とサラリーマンの違いを話して下さり、将来について考えるよい機会となった。
- ・児童たちはい草の香りや特性、仕事の内容に興味をもちながら、終始笑顔で取り組むことができました。将来の職についてや、技術の継承について考えることができる、大変良い講義だったと感じます。ありがとうございました。

### 児童生徒の感想

- ・畠を縫う時に、「保護具から針が外れたら貫通してしまうよ」と言わされたときはとても怖かった。い草は独特な良い匂いだった。ミニ畠はキレイにできたのでとても良かった。
- ・ミニ畠のヘリ選びや畠表を選ぶのに、種類がたくさんあったので悩んだ。
- ・畠の大きさがそれぞれ違うことや、畠の裏側には番号を書くということを知った。
- ・自分で作ったミニ畠はとても上手にできたから、満足した。畠表の色とヘリの色のバランスが良くなるように工夫した。
- ・畠を作るのは大変な仕事であることと、どんな仕事でも同じだけど、お金を手に入れるのは大変なことだということが分かった。
- ・ミニ畠作りがとても面白かった。丁寧に教えていただいたので、とても分かりやすかった。
- ・畠を機械で作っている動画を見てみたかった。
- ・畠打ち体験で、畠に針を刺すのが大変だった。作っている職人さんはどれだけ大変かということがよく分かった。
- ・い草の匂いを嗅ぎながら勉強をすると、集中力が上がるということが印象に残った。
- ・畠を手作業で縫うということは、それだけ強い力と大きな針などの道具が必要で、とても大変な仕事なんだと分かった。

## 表装会場の様子



### 先生の感想

- ・これまであまり関わってこなかった職種の話が聞けて、興味をもった児童がたくさんいた。
- ・クロス貼りの体験活動を通して、リフォームしたり自分の部屋の壁を変えるなどDIYを感じている様子だった。
- ・書物の復元や手早くクロスを貼る様子から、その職人技に感動している様子だった。
- ・破ろうとしても、なかなか破れない障子があることを知り、現代の技術に感心していた。
- ・自分の好きな柄を選び、オリジナルのタペストリーを全員完成させることができ、大変喜んでいた。
- ・製作活動に必要な材料や道具だけでなく、実演も含め、表装という職業をより詳しく知ってもらうための工夫がたくさんあり、子供たちのために準備をしてくださっていることが伝わりました。

### 児童生徒の感想

- ・しわくちゃになった書道の作品を復元するところを初めて見た。
- ・すごく楽しいし、満足できたけど、他の色んな作品を見てみたかったなと少し思った。でも、教え方も分かりやすく、私は不器用だけれどきれいにできて良かった。
- ・タペストリーが上手にできた。写真に合う模様を選んで、好きなようにシールや折り紙でデコレーションしたのがすごく楽しかった。
- ・破れた作品やくしゃくしゃになった書道作品、汚い紙などもきれいに復元する実演を見た。破っていたことが分からぬくらいにキレイに復元されていて、すごいなと思った。他にどんな仕事をするのかも気になった。
- ・自分の写真に合う模様の紙を選んだり、デコレーションを工夫して作ることができた。のりを塗るときや土台に貼る時、きれいにできるように工夫した。
- ・表装の仕事は楽しいのか。また、達成感があるのかをもっと詳しく聞きたいと思った。
- ・DIYとかタペストリー作りとか、全くどういう風に作るのか知らなかつたけど、この授業をやってよく知ることができた。将来の職業として、表装の仕事も良いなと思った。
- ・体験をしている時に、先生から「才能あるよ」と言われたことが印象に残っている。「表装」という仕事の選択肢が増えて良かった。
- ・これから大人になってから表装の仕事をやってみたいと思った。